

令和 7 年度 朝日山地森林生態系保護地域部会の概要報告

1. 日時及び場所

日時：令和 7 年 6 月 5 日（木）13：30～16：30

場所：鶴岡市朝日中央コミュニティセンター（すまいる）

2. 出席者

別紙 1 のとおり

3. 議事概要

(1) 審議事項

① 朝日山地森林生態系保護地域モニタリング調査結果等について

朝日山地森林生態系保護地域内における人為的影響の把握を目的として、平成 15 年度より継続しているモニタリング調査結果等について、事務局より説明。

② 朝日山地のチョウ類群集調査結果について

令和 6 年度朝日山地のチョウ類群集調査結果について事務局より説明。

③ 東北森林管理局におけるセンサーカメラ設置によるニホンジカ生息状況調査について

東北森林管理局では平成 26 年度から令和 5 年度までニホンジカの県境を越えた移動に対処可能な広域監視体制を確立するため全署等においてニホンジカ影響調査・簡易チェックシート調査を 10 年間実施したところである。

これにより管内全域のニホンジカの生息状況を把握してきたところであるが、岩手県内では生息密度の増加に伴い目撃頻度が高くなっていることや、白神山地や早池峰山などでは個別にニホンジカの生息状況調査等を実施していることなどから広域監視体制の見直しを図ることとした。

具体的には、広域監視の着眼点を管内全域から生息が拡大しつつある先端地域（主に奥羽山脈西側）に集約し、調査方法は自動撮影カメラ設置によるデータ収集を基本とする調査を行うこととした。これによりニホンジカの生息状況を把握して、関係する地方自治体との情報共有を図ることでニホンジカ対策に貢献することとしている。

山形県内には 10 箇所にセンサーカメラを設置。

④ 山形県内におけるニホンジカの捕獲頭数について（情報共有）

令和 7 年 1 月末現在有害駆除 32 頭。現在集計中であるが 3 月末時点では 90 頭まで増える。（山形県みどり自然課取りまとめ）

第２期山形県ニホンジカ管理計画（R7.4.1～R12.3.31）の概要について山形県みどり自然課より説明。

（２）報告事項

① 令和６年度朝日山地森林生態系保護地域及び周辺地域における巡視状況

令和６年度巡視活動等（ボランティア巡視、合同パトロール、森林生態系保護保地域の看板の保守点検、スノーモービル乗り入れ規制等）について事務局より報告。

② 朝日自然塾について

令和６年度朝日自然塾連絡協議会（地元自然保護団体、山岳会、自治体等及び朝日庄内森林生態系保全センターで構成）の審議において、今後は生態系保全業務へシフトを図るため、プログラムを縮減し見直しをしていくこととなった。

今後は、学校や地域関係者の要請に応じた森林環境教育を主体とし実行する予定とする。

令和６年度の実施状況、令和７年度の実施計画等について事務局より報告。

③ 関東森林管理局下越森林管理署村上支署の報告について

新潟県側における朝日山地森林生態系保護地域の令和７年度巡視活動等について、下越森林管理署村上支署より報告。

【委員からの主な意見】

- ・第６期（R11～R15）森林植生調査や山菜利用実態調査、溪流魚調査を縮小、もしくは取りやめるのであれば、山菜取りや釣りによる影響がどの程度あったか、これまでの成果を取りまとめて整理すべき。
- ・第６期の溪流魚調査については、イワナの資源量の変動から森林生態系の健全性を把握することを目的にするのであれば、禁漁区のみ実施することにしてはどうか。また、底生昆虫の調査は大水が出た段階でスポット的に実施してはどうか。
- ・山形県や市町村で、白神山地周辺地域で実施されているニホンジカの越冬地調査を行ってみてはどうか。

【事務局からの回答】

- ・山菜利用実態調査と溪流魚調査については、過年度の実施結果を整理して来年度の本会議で提示させていただく。
- ・越冬地調査（山形県及び鶴岡市担当委員）については検討はするが、目に見える被害が生じていないものに対して予算を付けづらい。また、すでに被害が顕在化しているニホンザルやツキノワグマ等の対策強化が市民から要望されており、そちらの対策を優先せざるを得ない状況である。

令和7年度 東北森林管理局保護林管理委員会

朝日山地森林生態系保護地域部会

日 時： 令和7年6月5日（木） 午後1時30分～午後3時30分

場 所： 鶴岡市朝日中央コミュニティセンター

< 議 事 次 第 >

1 開会挨拶

2 出席者紹介

3 議 題

- (1) 朝日山地森林生態系保護地域モニタリング調査結果等について（資料1）・・・p. 1
- (2) 令和6年度 朝日山地のチョウ類群集調査結果（資料2）……………p. 33
- (3) 東北森林管理局におけるセンサーカメラによるニホンジカ生息状況調査……p. 37
（資料3）
- (4) 山形県環境エネルギー部みどり自然課からの共有情報（資料4）……………p. 38
- (5) 朝日山地森林生態系保護地域及び周辺地域における巡視活動（資料5）……p. 50
- (6) 朝日自然塾（資料6）……………p. 53
- (7) 関東森林管理局 下越森林管理署村上支署の報告事項（資料7）……………p. 57
- (8) 令和6年度 東北森林管理局保護林管理委員会における議事概要（資料8）・p. 68

（参考資料）東北森林管理局保護林管理委員会設置要領……………p. 70

4 閉会挨拶

令和 7 年度 朝日山地森林生態系保護地域部会
出席者名簿

朝日山地森林生態系保護地域部会 委員

(敬称略、五十音順)

氏 名	役 職 等	備 考
えんどう かずひろ 遠 藤 一 博	山形県猟友会 事務局長	欠席
かつら かずひこ 桂 和 彦	山形県内水面漁業協同組合連合会 参事	
きくち しゅんいち 菊池 俊 一	山形大学 農学部 准教授	
きない しんいち 木内 真 一 さとう みのる (佐藤 実)	山形県 環境エネルギー部 みどり自然課 課長 (みどり自然課 課長補佐)	(代理出席)
くさかり こういち 草 刈 広 一	山形県山岳連盟 登山部長 (自然保護委員長)	
さとう よしや 佐藤 善哉	山形新聞社 論説委員	
し だ りゅうたろう 志田 龍 太 郎	山形県西村山郡西川町 大井沢区長	
すずき ただし 鈴木 正	山形県溪流釣り協議会 会長	
ながはた よしゆき 永 幡 嘉 之	出羽三山の自然を守る会 理事	
みなかわ おさむ 皆 川 治 ちょうなん ひとし (長 南 均) くどう ゆ の か (工藤 由乃佳)	山形県 鶴岡市長 (朝日庁舎 産業建設課 主査)	(代理出席)
わたなべ もとつぐ 渡 邊 元 嗣	環境省 羽黒自然保護官事務所 自然保護官	

東北森林管理局及び関東森林管理局

氏 名	役 職 等
うおずみ 魚住 悠哉	東北森林管理局 計画課 課長
中嶋 一	東北森林管理局 計画課 行政専門員
岡崎 仁美	東北森林管理局 計画課 生態系保全係主任主事
葛西 譲	東北森林管理局 技術普及課 企画官（自然再生）
佐藤 博志	東北森林管理局 庄内森林管理署 森林技術指導官
進藤 政義	東北森林管理局 置賜森林管理署 次長
石田 伸次	関東森林管理局 下越森林管理署村上支署 森林技術指導官
なかつか 中束 敏之	関東森林管理局 下越森林管理署村上支署 総括森林整備官
岩間 由文	東北森林管理局 朝日庄内森林生態系保全センター 所長
有本 実	東北森林管理局 朝日庄内森林生態系保全センター 生態系管理指導官
工藤 柊也	東北森林管理局 朝日庄内森林生態系保全センター 主事